



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6069 URL <http://www.trenders.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 経沢香保子 (戸籍名: 岡本香保子)
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 郭 翔愛 (TEL) 03-5774-8871
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,243	—	73	—	74	—	32	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 32百万円(—%) 25年3月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	9.62	8.33
25年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成26年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第3四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,826	1,510	82.7
25年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,510百万円 25年3月期 ー百万円

(注) 平成26年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,840	—	160	—	160	—	90	—	26.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成25年11月1日付で公表いたしました「株式会社H&BCの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」のとおり、化粧品製造及び化粧品卸売を行っている株式会社H&BCの全株式を取得し、連結子会社としております。これに伴い、平成26年3月期第3四半期より連結決算へ移行いたします。平成25年10月25日公表の業績予想は単体ベースで開示しておりましたが、本業績見通しは、連結ベースでの業績見通しへと修正しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 特定子会社の異動には該当しませんが、株式会社H&BCを第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めています。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	3,400,800株	25年3月期	3,315,000株
26年3月期3Q	一株	25年3月期	一株
26年3月期3Q	3,360,903株	25年3月期3Q	2,775,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、当第3四半期連結会計期間において、株式会社H&BCの全株式を取得し子会社化したことに伴い、当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第3四半期連結会計期間において、株式会社H&BCの全株式を取得し子会社化したことに伴い、当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期との比較分析は行っておりません。なお、株式会社H&BCの決算日である平成25年11月30日をみなし取得日とし、第3四半期連結決算日との差異は3ヶ月を超えないため、当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和政策等を背景に、円高の是正や株価の上昇が進み、企業収益や個人消費に改善の傾向がみられており、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。インターネット関連業界においては、平成25年12月末現在のスマートフォン契約数比率は44.5%(株式会社MM総研調べ)まで拡大し、平成27年には普及率が53.6%と過半数を超える見通しとなっており、スマートフォン市場の急成長が続いております。インターネット広告市場においても、平成24年の市場規模は前年比7.7%増の8,680億円(株式会社電通調べ)と順調に拡大しております。

このような環境のもと、当社グループは「ソーシャルメディアマーケティングのオールラウンドカンパニー」を目指し、「Tubers Channel」をはじめ新サービスの開発に注力するほか、スマホアプリ「キニナルモン」サービスの拡大に注力いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,243,666千円、営業利益は73,303千円、経常利益は74,250千円、四半期純利益は32,333千円となりました。

各セグメントの業績については、次の通りであります。

① ソーシャルメディアマーケティング事業

当セグメントにおきましては、不正業者によるステマ問題に起因するブログサービスの一時的な不振、及び新サービス開発への人員配置強化に伴う人件費率の悪化等により、売上高、営業利益ともに減少いたしました。インターネット広告においては顧客企業から費用対効果を強く求められるため、これに対応できる新商品の早期立ち上げに注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,203,391千円、セグメント利益(営業利益)は297,975千円となりました。

② メディア事業

当セグメントにおきましては、美容医療ポータルサイト「キレナビ」におけるドクターコスメ(美容クリニックのオリジナル化粧品)の販売が堅調に推移いたしました。施術クーポンを販売する美容医療については、美容医療についての啓蒙活動、サイトの利便性向上及びプロモーションに引き続き取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は40,274千円、セグメント損失(営業損失)は15,832千円となりました。

なお、平成25年12月24日開催の取締役会において、株式会社サイブリッジとの間でメディア事業(美容クリニックのポータルサイト「キレナビ」(<http://www.kirei-c.com/>)の運営事業)の譲渡

に関する契約を締結することを決議し、同日付で事業譲渡契約を締結し、平成26年1月31日付で譲渡いたしました。

③ H&BC事業(ヘルス&ビューティケア事業)

株式会社H&BCの決算日である平成25年11月30日をみなし取得日とし、第3四半期連結決算日との差異は3ヶ月を超えないため、当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

そのため、株式会社H&BCの業績については、当第3四半期連結累計期間において計上しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,826,968千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は316,785千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,510,183千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月1日公表の「株式会社H&BCの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」のとおり、化粧品製造及び化粧品卸売を行っている株式会社H&BCの全株式を取得し、連結子会社としております。これに伴い、平成26年3月期第3四半期より連結決算へ移行いたします。平成25年10月25日公表の業績予想は単体ベースで開示しておりましたが、本業績見通しは、連結ベースでの業績見通しとなります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第3四半期連結会計期間において株式会社H&BCの全株式を取得し子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,196,820
受取手形及び売掛金	376,451
商品及び製品	19,454
仕掛品	15,533
原材料及び貯蔵品	1,064
その他	70,417
貸倒引当金	△1,112
流動資産合計	1,678,630
固定資産	
有形固定資産	23,991
無形固定資産	66,917
投資その他の資産	57,429
固定資産合計	148,338
資産合計	1,826,968
負債の部	
流動負債	
買掛金	104,816
短期借入金	15,164
未払法人税等	5,847
ポイント引当金	24,068
その他	107,155
流動負債合計	257,051
固定負債	
長期借入金	43,805
資産除去債務	15,928
固定負債合計	59,733
負債合計	316,785
純資産の部	
株主資本	
資本金	519,794
資本剰余金	498,794
利益剰余金	491,594
株主資本合計	1,510,183
純資産合計	1,510,183
負債純資産合計	1,826,968

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,243,666
売上原価	696,466
売上総利益	547,199
販売費及び一般管理費	473,895
営業利益	73,303
営業外収益	
貸倒引当金戻入益	960
その他	550
営業外収益合計	1,510
営業外費用	
支払利息	563
営業外費用合計	563
経常利益	74,250
特別利益	
負ののれん発生益	764
特別利益合計	764
特別損失	
減損損失	16,554
特別損失合計	16,554
税金等調整前四半期純利益	58,460
法人税、住民税及び事業税	26,475
法人税等調整額	△347
法人税等合計	26,127
少数株主損益調整前四半期純利益	32,333
四半期純利益	32,333

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成25年4月1日
 至平成25年12月31日)

少数株主損益調整前四半期純利益	32,333
四半期包括利益	32,333
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	32,333

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	ソーシャルメディアマーケティング事業	メディア事業	H&BC事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,203,391	40,274	—	1,243,666	—	1,243,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,203,391	40,274	—	1,243,666	—	1,243,666
セグメント利益又は損失(△)	297,975	△15,832	—	282,143	△208,839	73,303

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△208,839千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成25年11月1日に、株式会社H&BCの全株式を取得し、子会社化いたしました。これに伴い、当第3四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の2事業から「H&BC事業」を追加し3事業としております。なお、株式会社H&BCの決算日である平成25年11月30日をみなし取得日とし、第3四半期連結決算日との差異は3ヶ月を超えないため、当第3四半期連結累計期間は、貸借対照表のみを連結しております。

そのため、株式会社H&BCの業績を四半期連結損益計算書に含めていないため、「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」において報告セグメントの「H&BC事業」に金額は記載しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

メディア事業セグメントにおいて、平成25年12月24日開催の取締役会において「キレナビ」事業の譲渡を決定したことに伴い、固定資産を回収可能価額まで減額し、減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては16,554千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

H&B C事業セグメントにおいて、株式会社H&B Cを平成25年11月1日付で子会社化いたしました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては764千円であります。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年12月24日開催の取締役会決議において、株式会社サイブリッジとの間でメディア事業(美容クリニックのポータルサイト「キレナビ」(<http://www.kirei-c.com/>)の運営事業)の譲渡に関する契約を締結することを決議し、同日付で事業譲渡契約を締結し、平成26年1月31日付で譲渡いたしました。

(1) 重要な事業譲渡の理由

「選択と集中」の観点から当社の経営資源を集約することが、当社の企業価値の最大化につながると判断したためであります。

(2) 譲渡する事業の内容、規模

① 譲渡する事業の内容

美容クリニックのポータルサイト「キレナビ」(<http://kirei-c.com/>)の運営

② 譲渡する事業の規模

直近期の売上高: 32,381千円(平成25年3月期)

(3) 譲渡の時期

平成26年1月31日

(4) 譲渡した事業の含まれているセグメントの名称

メディア事業

(5) 会計処理の概要

本事業譲渡に伴い、メディア事業に係る固定資産の帳簿価格を回収可能額まで減額した結果、16,554千円を減損損失として特別損失に計上しております。なお譲渡完了する期末時点では、10,510千円を事業譲渡損として、6,043千円を固定資産除却損として特別損失に振替計上予定であります。